

に行なわれ、勤が仕事を得意とする。功績を挙げて居る。元來日本の労働運動は、國情を異にするとは云へ、欧米の社会事業や、知識階級の一片の理論に刺激され一挙に、社会悪を改革せんとした。が元來日本の資本主義経済組織は、日本の急激な発展に先達したものであつて、交々功罪を積んで居るが、真の大いなる原因は、日本の國情、國民性に相應した處置を採らなかつたので、單なる制度上の問題だけの缺陷ではない。故に吾々は、制度改革万能主義者や、非日本的の欧米追隨主義では、斷じて日本の改善は望まれない。

一、一切の非日本的主義主張に反對す。

二、一切の制度萬能論を排す。

三、資本主義経済制度の改善は産業精神の振興と相俟つべきを期す。

労働者の経済的立場

資本主義経済の打崩法としてのインフレーション政策 其他四の暴落 満洲

事変等に依つて、各工場及貿易關係は相当活発な動きを見せて居るが、而し此の景氣は、現在の経済界の困難を意味する正常のものではない。單なる一部の現象である。即ち天災に拍車を加へられた。農村の荒廢は、將來とも現在の経済制度より来るものである。顯著なるものである。日本の替焉安、と日本の工業界は、於ける合理化、統制並に日本人の産業上に於ける、勤勉と振興の精神は、貿易に利益として、甚に若干の動きを見せ、海外進出の準備も、日本品の海外的發展とは、理にたりつゝあるが、世界的競争の激化、日本品の海外的發展とは、理にたりつゝあるが、れよつとはしない。各國の産業の、日本品の阻止を企て、或は貿易品の制限交渉に於て、日本に致命的疑案をして居る。

これ等は、將來の吾々の運動の上にも、又雇業人として、日本の産業に消滅を打ち込む。吾等労働者の日本の経済上に於ける通行に充分なる認識としなければならぬ。随つて経済不況の打崩法としては、当然日本の國民としての立場を採らなくてはならない。